

はしがき

本書『18歳からはじめる国際法』は〈18歳から〉シリーズの1冊として、大学に入学したばかりの学生や、18歳未満であっても国際社会に関心のある皆さんに容易に理解できることを目指して刊行される。

本書中でも度々言及されている、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルによるガザにおける武力衝突など、国際社会には多くの混乱が見られる。そのような動きは日本にも大きな影響を与えている。国際社会の動きを知る上で、国際法は1つの視点を与えてくれる。国際社会のルールはどのようなものであり、どのように守られているのだろうか。本書はそのような点を扱う。

本書の目的は、国際法の基本的な内容を簡潔ではあるが正確に説明し、読者が国際法の必要最低限の知識が得られるようにすることである。また、可能な限り最新の動きについても目配りし、現状をよりよく理解できるようにも試みた。それにより、国際法に興味のある学生だけではなく、法学や国際法になじみのない読者でも関心が持てるように工夫を凝らした。具体的な使い方は「本書の構成と読み方」を参照して頂きたい。

本書は、巻末に掲げた基本文献案内に紹介されている他の国際法の教科書と比較しても圧倒的に分量が少ない。よって簡単に通読することができる。また、読み進め易くするために、側注やクロスレファレンスで様々な工夫を施した。本書を一読し、国際法の全体的な見取り図がおぼろげながらでもつかめれば、私たちとすれば望外の喜びである。

本書の編者・執筆者は一橋大学大学院で国際法の研究を行った者であり、それぞれの研究について相互に十分な理解がある。本書の執筆過程では、執筆者の意向を尊重しながらも、全体として分かりやすかつ正確な説明がなされているかという観点から執筆者全員で綿密な意見交換を行った。

本書の刊行に際しては法律文化社の畑光社長、編集部の梶谷修氏・八木達也氏に多大なるご尽力を頂戴した。ここに記して御礼申し上げる。

2025年3月

編者一同

本書の編者である佐藤哲夫先生は、2024年度末をもって広島市立大学を退職されます。佐藤先生のこれまでのご指導に深く感謝申し上げます。

執筆者一同

私の古稀の記念に、このような仕事を一緒に行えて嬉しい限りである。編集作業の大半を渡辺教授の献身的な努力に負うことを感謝と共に記す。

佐藤哲夫